

高知県工業技術センターだより

▶ 東部博にてデジタルサイネージの実証試験中!

4月29日から開催中の「高知家・まるごと東部博」(正式名称:高知県東部地域博覧会)において、当センターが開発したネットワーク型デジタルサイネージで観光情報を発信しています。東部博の各拠点にお立ち寄りの際は、ぜひともご覧ください!

デジタルサイネージとは

表示と通信にデジタル技術を活用して、液晶ディスプレイ等に情報や映像を表示する広告媒体のこと。

デジタル技術を活用することで、表示内容をスライドのように切り替えたり、動画を表示したり、BGMを連動させたりといったように、ポスターでは表現できない手法がとれることが特徴です。

通信機能をもつネットワーク型のものは、遠隔地から表示内容をコントロールすることも可能です。



デジタルサイネージ

液晶ディスプレイとプレイヤー機(白い箱)

東部博での実証試験について

当センターが開発したデジタルサイネージは通信機能を持つネットワーク型のものです。コンテンツを表示する「プレイヤー機」、コンテンツを管理する「サーバ機」の2種類で構成されています。このプレイヤー機を、「高知家・まるごと東部博」の拠点を中心に設置し、各拠点における観光情報を提供することで実証試験を行っています。

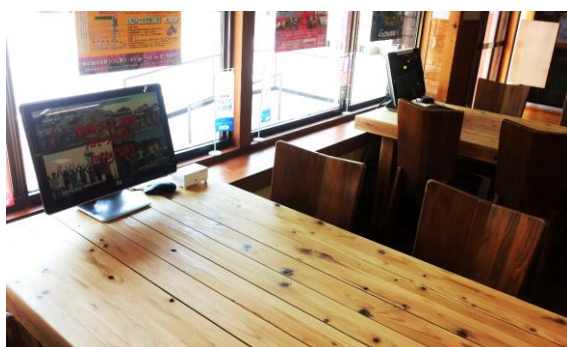
設置箇所は、龍馬空港、とさてらす(高知駅前)、安芸観光協会、安芸歴史民族資料館、田野駅屋、モネの庭、東洋町海の駅の計7か所です。

各拠点等に配置されたプレイヤー機は、サーバ機から送られてくるそれぞれの場所に合った観光情報等のコンテンツを逐次表示していきます。



開発したプレイヤー機

高知県の情報発信用のプレイヤー機なので、当センターの「ダイレクトUVプリンター」にて高知家のロゴマークを印刷しています。



デジタルサイネージが設置されている様子

(左 安芸観光協会、右 高知竜馬空港)

設置箇所は、龍馬空港、とさてらす(高知駅前)、安芸観光協会、
安芸歴史民族資料館、田野駅屋、モネの庭、東洋町海の駅 の計7か所

コンテンツの内容は「パビリオンの情報」や「イベントの告知」などが中心で、BGMと共にデジタルサイネージに表示させています。これらの更新は、インターネットを經由でブラウザを使用して行われます。東部博の開催期間を通して運用することにより、システムの品質と機能を向上させていきます。

今回の実証試験では、デジタルサイネージを設置することで、「観光客に対して東部博で行われるイベント等の認知度を向上させる効果があるか」、「観光地のイメージが向上するか」など視認状況の評価を行う予定です。

東部博をより楽しむために、ぜひともデジタルサイネージをご活用ください！

高知家・まるごと東部博とは

「高知県東部の人のおもてなしとジオの恵みにであう旅」をコンセプトに、観光やイベント、体験、交流を楽しむための博覧会です。開催期間は、平成27年4月29日から12月23日です。

開催エリアは、高知県東部の9市町村。

室戸市、安芸市、東洋町、奈半利町、田野町、安田町、北川村、馬路村、芸西村

パビリオンは3か所あり、県東部の地質や自然、歴史や文化に触れられる企画展、グルメ、スポーツイベント、地域の人との交流を満喫できる体験プログラムなど、盛りだくさんの内容で実施します。

詳しくは高知家・まるごと東部博のホームページまで

<http://kochi-toubu.jp/>